

●Make-Upする会(川口西ロータリークラブ主催 献血会)

9月11日の10:00より、リリアにて川口西ロータリークラブ主催で献血会がありました。川口ロータリークラブからも、Make-Upする会として参加致しました。また、川口ローターアクトも協力しました。



●川口ローターアクト定例会

9月13日の19:00より、文化学園にて川口ローターアクトの定例会がありました。川口ロータリークラブからも、参加致しました。



次回予告

10月11日 定例会
会場/そごう川口店ダリアルーム 卓話 さとふる 上村 様
点鐘/12:30

次々回予告

10月18日 定例会
会場/そごう川口店ダリアルーム 高橋明賢ガバナー補佐 公式訪問前訪問
点鐘/12:30



国際ロータリー第2770地区
第11グループ

Weekly Report
No. 10

●定例会 第2865回
2018年10月4日配布

〒332-0012 川口市本町1-18-5 NTTビル1F
TEL. 048-222-0124 FAX. 048-222-0118
<http://www.kawaguchi-rc.com>



Be The Inspiration

あいさつ

会長 岡村 睦美

本日は、卓話者に埼玉りそな銀行(株)社長、池田一義社長がおいでになります。

県内128店舗を有し、預金残高11兆3211億53百万円、貸出金残高6兆6924億53百万円、3153人の従業員を有し、名実ともに埼玉経済のオピニオンリーダーとしての役割を果たしておられます。

今日の卓話のテーマが「渋沢栄一と埼玉りそなbank」ですので、銀行の話が中心となります。

私は渋沢栄一の目指した理想と、ロータリーの理念との共通点について話をさせて下さい。

渋沢栄一は最後の将軍・徳永慶喜に仕えて、パリ万博使節団としてフランスに渡ります。

その後、明治政府に入り、日本が近代国家の道を歩むため、第一国立銀行の設立に関わり、500以上の株式会社の設立、700以上の大学の設立に携わる等、日本資本主義の父と呼ばれた人です。

その著書、「論語と算盤」においては次のように述べています。

「富をなす根源は何かと言え、仁義道徳。正しい道理の富でなければ、その富は完全に永続することができぬ。」

「事柄に対し如何にせば道理にかなうかをまず考え、しかしてその道理にかなったやり方をすれば国家社会の利益となるかを考え、さらにかくすれば自己のためにもなるかと考える。

そう考えてみたとき、もしそれが自己のためにはならぬが、道理にもかない、国家社会をも利益するというのなら、余は断然自己を捨てて、道理のあるところに従うつもりである。」

このように、「論語と算盤」の理念は日本福祉活動の基盤づくりとなり、福祉、医療機関の運営や財政的な援助を行います。

利益を求める経済の中にも道徳が必要であると考え、600もの社会公共事業に関わりました。

埼玉県では「渋沢栄一賞」を贈り、企業経営の根底には道徳が必要であるとする今日の起業家のあるべき姿を示すと共に、その生き方や功績を全国に発信しています。

その精神はまさにロータリーの理念と一致しています。

